千葉大学病院にて進行卵巣癌に対して 術前化学療法を行ったのちに手術を施行された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年4月28日

婦人科

婦人科では、進行卵巣癌に対して術前化学療法を行い、化学療法後に手術を行っています。以下に示す方の診療情報などを、本文書の公開日以降に利用させていただきます。

研究内容の詳細を知りたい方、研究に診療情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2012年1月1日から2023年12月31日の間に治療開始日のある、
進行卵巣癌に対して術前化学療法と化学療法後の手術を受けられた方

1. 研究課題名

当科で進行卵巣癌に対して術前化学療法後に腫瘍減量術を施行した患者のKELIM値を用いた後方視的研究

2. 研究期間

2025年承認日～2027年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

手術不能の進行卵巣癌に対して術前化学療法を行った後に腫瘍減量術が行われます。完全切除例で予後が良好となりますが、化学療法感受性の指標であるKELIM値によって完全切除達成率が異なると言われていています。KELIM値を用いて、当科の進行卵巣癌の治療成績や予後を調査し、KELIM値による評価方法や管理方法について検討します。

患者さんの診療録から情報を収集・解析し、学会・論文等で発表します。

この研究は観察研究であり、新たに試料を採取することはないため、患者さんが新たに協力しなければならないことはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている

患者背景：治療開始時年齢、観察期間、組織型、FIGO stage、performance status、原発巣、腹水量、血清アルブミン値、血清 CA125 の値、KELIM 値

治療結果：手術時の残存病変の有無、完全切除の成否、腹膜播種の指標 (PCI)、手術術式の複雑度 (SCS)

患者予後：5年無病生存率、5年生存率

5. 研究組織

研究機関名：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：婦人科 助教 奥谷理恵

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学部附属病院婦人科内で厳重に保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他、本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

婦人科 助教 奥谷理恵

043(222)7171 内線 5312